

### 3 報告

全国水産試験場長会会長(宮崎県水産試験場長) 大村 英二

まず、報告事項一つ目として、令和6年度の活動結果と令和7年度の活動計画について、資料1によりご報告いたします。

#### 【令和6年度活動結果(資料1)】

令和6年度の主な活動実績ですが、幹事以外の会員の皆様には場長会の活動がイメージしにくいかもしれませんので、1年間の流れを時系列で説明させていただきます。

(1)の会議は、(2)の水産庁主催の第1回地域水産試験研究振興協議会の開催前に、三役会、海面部会・内水面部会、幹事会を開催したものです。(2)の第1回地域水産試験研究振興協議会では、前年度に提出した「令和6年度地域の抱える懸案事項について」の水産庁からの回答に対し、意見交換を行いました。(3)の関係機関訪問は、私が地域水産試験研究等促進奨励会を訪問したものです。(4)(5)は、全国大会の開催に向けて、表彰審査委員会、海面部会・内水面部会、幹事会を開催したものです。また、両部会および幹事会では「令和7年度地域の抱える懸案事項について」の課題を各ブロックから集約し、その取りまとめ方針について検討いたしました。(6)と(7)は、11月に長野県で開催した全国大会と、これに併せて開催した三役会です。全国大会では、優秀業績の表彰や、地域の水産業や試験研究についての情報交換、意見交換を行いました。(8)は、全国養鯉振興協議会主催の全国食用鯉品評会において、全国水産試験場長会から後援と表彰を行ったものです。福島県内水面水産試験場長に代理出席をお願いしました。

(9)は、全国内水面漁業振興大会に、内水面部会長が代表として参加いたしました。

(10)と(11)は、水産研究・教育機構主催の水産工学関係研究開発推進会議と開発調査推進会議に出席したものです。(12)は、2月に開催した第3回幹事会で、ここでは引き継ぎも兼ね、次年度の幹事にもご出席いただいております。(13)は、「令和7年度地

域の抱える懸案事項に関する提案・要望書」を水産庁及び水研機構へ提出したもので、内容については次の報告事項で説明いたします。(14)(15)では、水研機構主催の全国水産業関係研究開発推進会議および水産庁主催の地域水産試験研究振興協議会に、三役、ブロック幹事、次期就任幹事が出席し、意見交換を行いました。(16)は、全国青年・女性漁業者交流大会において場長会会長賞を授与したものです。

その他として、各種委員会への出席や、令和4年度から始まった「日本水産学会誌 水産研究のフロントから」への連載については、全国の会員の皆様に交代で寄稿いただいているところです。今後も足掛け8年の連載となりますので、引き続き原稿作成等よろしくお願いたします。

以上が、令和6年度の活動結果となります。

#### **【令和7年度活動方針・活動状況（資料1）】**

続いて、令和7年度の活動方針と計画、活動状況についてご報告いたします。今年度も全国水産試験場長会規約第5条の規定に基づき、記載のと通りの活動方針により取り組んでいるところでございます。

活動計画と活動状況を次のページに示しております。本日の全国大会まで、ほぼ例年どおりに活動しております。

(6)の三役会は本日の午前中に開催し、令和8年度地域の抱える懸案事項の内容と文面の調整を進めております。(7)が本日と明日の全国大会となります。

(8)～(13)は今後の会議等の予定で、例年どおりの計画となっております。

(14)は、全国水産学会と全国水産試験場長会で合同シンポジウムを行う予定で、後ほど星野企画担当副会長から説明があります。

以上が、令和7年度の活動方針と活動状況となります。

### 【国への提案・要望「地域の抱える懸案事項」等】

続いて、報告事項二つ目の国への提案・要望「地域の抱える懸案事項」等についてご報告いたします。令和7年度の提案・要望は、資料2のとおり令和7年2月に水産庁と水研機構に提出しており、会員の皆様には各ブロック幹事を通じて既に資料を配布しております。また、過去の提案・要望も含めて、全国水産試験場長会のホームページで公表しております。令和7年度の提案・要望として、制度設計課題で5課題、研究・技術開発課題で7課題を提出いたしました。

研究・技術開発課題については、令和7年2月に水研機構から、また制度設計課題については今年度6月に水産庁からご回答をいただき、これについても既に各ブロック幹事を通じて会員の皆様にお知らせしたところですので、ここでの詳細な説明は省略させていただきます。

今後の予定ですが、現在取りまとめ中の「令和8年度の提案・要望書」を来年2月上旬を目途に完成させ、水産庁、水研機構へ正式に提出いたします。その後、2月17日の水研機構主催の全国水産業関係研究開発推進会議および18日の水産庁主催の地域水産試験研究振興協議会において、提案・要望内容についての意見交換を行う予定です。これらの一連の会議には、今年度の三役・幹事とともに、オブザーバーとして次期幹事も同席していただくことになっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上で報告を終わります。

令和6年度の活動結果  
令和7年度の活動方針・活動計画

全国水産試験場長会

(令和7年5月29日幹事会承認事項をもとに作成)

## 令和6年度の活動結果について

- (1) 令和6年度第1回三役会、海面部会・内水面部会、幹事会の開催  
(R6. 6月21, 26日) 三役、ブロック幹事出席  
○令和6年度活動方針案及び活動計画案について  
○地域水産試験研究振興協議会での協議事項について ほか
- (2) 令和6年度第1回地域水産試験研究振興協議会出席(水産庁主催)  
(R6. 6月27日) 三役、ブロック幹事出席  
○令和6年度地域の抱える懸案事項について ほか
- (3) 関係機関・団体等訪問(R6. 6月27日)  
○訪問先: 地域水産試験研究等促進奨励会 会長対応
- (4) 令和6年度表彰審査委員会の開催(R6. 10月4日 WEB会議) 審査委員、  
推薦ブロック幹事等出席  
○優秀研究業績表彰候補の説明と審査
- (5) 第2回海面部会・内水面部会、幹事会の開催(R6. 10月17日) 三役、  
ブロック幹事出席  
○表彰審査委員会の結果について  
○全国大会について  
○令和7年度地域の抱える懸案事項について ほか
- (6) 令和6年度第2回三役会の開催(長野県)(R6. 11月7日)  
○令和7年度地域の抱える懸案事項の検討 ほか
- (7) 令和6年度全国大会の開催(長野県)(R6. 11月7日~8日)  
○活動報告  
○情報交換  
北海道の水産資源にみられる気候変動の影響  
○話題提供  
長野県における水産業と研究業務について  
○会長賞表彰  
①「温暖化に対応するコンブ養殖技術の改良と普及」  
ーコンブ成熟誘導技術の開発ー  
(地独) 北海道立総合研究機構稚内水産試験場 調査研究部  
主査 前田 高志

- (地独) 北海道立総合研究機構函館水産試験場 調査研究部  
研究主幹 秋野 秀樹
- ②「アカムツ種苗生産技術の開発に関する研究」  
富山県農林水産総合技術センター水産研究所  
主任研究員 福西 悠一
- ③「食味に優れた大型雌ウナギ生産技術の確立」  
愛知県水産試験場漁業生産研究所  
主任 稲葉 博之
- 現地意見交換会(犀川殖産漁業協同組合冬季ニジマス釣り場  
長野県水産試験場) ほか
- (8) 全国養鯉振興協議会主催全国食用鯉品評会での場長会賞表彰  
(R6. 11月11日) 福島県内水面水産試験場から代理出席
- (9) 第65回全国内水面漁業振興大会(宮城県) (R6. 11月14日)  
内水面部会長(副会長) 対応
- (10) 令和6年度水産工学関係研究開発推進会議出席  
(水産研究・教育機構主催)(R6. 11月22日)  
会長、参加希望会員対応
- (11) 令和6年度開発調査推進会議出席(水産研究・教育機構主催)  
(R7. 2月6日) 会長、参加希望会員対応
- (12) 令和6年度第3回幹事会の開催(R7. 2月17日)  
三役、ブロック幹事、次期就任幹事
- (13) 令和7年度地域の抱える懸案事項に関する提案・要望書提出  
(R7. 2月) 三役対応  
○水産庁、国立研究開発法人水産研究・教育機構へ提出
- (14) 令和6年度全国水産業関係研究開発推進会議出席  
(水産研究・教育機構主催)(R7. 2月18日)  
三役、ブロック幹事、次期新規就任幹事
- (15) 令和6年度第2回地域水産試験研究振興協議会出席(水産庁主催)  
(R7. 2月19日) 三役、ブロック幹事、次期新規就任幹事
- (16) 全国青年・女性漁業者交流大会での場長会会長賞の授与  
(R7. 3月4日~5日) 会長対応

※その他水産庁、水産研究・教育機構等からの各種協力依頼に随時対応

- 水産研究・教育機構機関評価委員会（水産研究・教育機構主催）
- 水産増殖懇話会（日本水産学会主催、特別幹事が担当）
- 水産研究・技術開発戦略検討委員会（水産庁増殖推進部主催）
- 日本水産学会誌「水産研究のフロントから」寄稿連載（今年度分）
  - 90(3) 福岡県水産海洋技術センター
  - 90(4) 島根県水産技術センター
  - 90(5) 石川県水産総合センター
  - 90(6) 栃木県水産試験場
  - 91(1) 滋賀県水産試験場
  - 91(2) 岩手県水産技術センター

## 令和7年度の活動方針・活動計画について

### 【令和7年度の活動方針】

全国水産試験場長会では、全国水産試験場長会規約第5条の規定に基づき、令和7年度に下記の活動に取り組むものとする。

#### 記

- 1 会員間の緊密な連携と情報交換の促進
- 2 関係する他機関等との情報交換、意見交換の促進
- 3 制度設計課題、技術課題のとりまとめ及び関係機関への要望活動など
- 4 地域水産試験研究振興協議会、全国水産業関係研究開発推進会議への参加及び意見提起など
- 5 新しい資源管理に対応するための関係団体等との協議・要望活動など
- 6 全国大会の開催（PR活動含む）
- 7 優秀研究業績の表彰に係る審査、決定、公表など
- 8 会や会員の活動内容、研究成果などの情報発信及びPRなど
- 9 上記の目的を達成するための、幹事会、部会、三役会の開催

(参考) 全国水産試験場長会規約抜粋

(事業)

第5条 本会の目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 会員間及び本会に関係する他機関との情報交換
- (2) 中央の関係機関への要望及び提言
- (3) 全国大会の開催
- (4) 優秀研究業績の表彰
- (5) 会報の発信
- (6) その他第3条の目的を達成するために必要な事業

## 【令和7年度の活動計画と活動状況】

- (1) 令和7年度第1回三役会、海面部会・内水面部会、幹事会の開催  
(R7. 5月26, 29日) 三役、ブロック幹事出席  
○令和7年度活動方針案及び活動計画案について  
○地域水産試験研究振興協議会での協議事項について ほか
- (2) 令和7年度第1回地域水産試験研究振興協議会出席(水産庁主催)  
(R7. 5月30日) 三役、ブロック幹事出席  
○令和7年度地域の抱える懸案事項について ほか
- (3) 関係機関・団体等訪問(R7. 5月30日) 会長対応  
○訪問先: 地域水産試験研究等促進奨励会
- (4) 第66回全国内水面漁業振興大会(石川県) (R7. 10月7日)  
内水面部会長(副会長) 対応
- (5) 令和7年度表彰審査委員会、第2回海面部会・内水面部会、幹事会の開催  
(R7. 10月9, 10日) 三役、ブロック幹事出席  
○表彰審査委員会の結果について  
○全国大会について  
○令和8年度地域の抱える懸案事項について ほか
- (6) 令和7年度第2回三役会の開催(香川県) (R7. 11月18日)  
○令和8年度地域の抱える懸案事項の検討 ほか
- (7) 令和7年度全国大会の開催(香川県) (R7. 11月18, 19日)  
○活動報告  
○話題提供  
○会長賞表彰  
○現地意見交換会 ほか
- (8) 全国養鯉振興協議会主催全国食用鯉品評会での場長会賞表彰  
(R7. 11月19日) 福島県内水面水産試験場から代理出席
- (9) 令和7年度第3回幹事会の開催(R8. 2月16日予定)  
三役、ブロック幹事、次期就任幹事

- (10) 令和7年度地域の抱える懸案事項に関する提案・要望書提出  
(R8. 2月) 三役対応  
○水産庁、国立研究開発法人水産研究・教育機構へ提出
- (11) 令和7年度全国水産業関係研究開発推進会議出席  
(水産研究・教育機構主催) (R8. 2月17日予定)  
三役、ブロック幹事、次期新規就任幹事
- (12) 令和7年度第2回地域水産試験研究振興協議会出席 (水産庁主催)  
(R8. 2月18日予定) 三役、ブロック幹事、次期新規就任幹事
- (13) 全国青年・女性漁業者交流大会での場長会会長賞の授与  
(R8. 3月5, 6日予定)
- (14) 全国水産学会・全国水産試験場長会、合同シンポジウム  
(R8. 3月26日予定)

※その他水産庁、水産研究・教育機構等からの各種協力依頼に随時対応

- 水産研究・教育機構機関評価委員会 (水産研究・教育機構主催)
- 水産工学関係研究開発推進会議 (水産研究・教育機構主催)
- 開発調査推進会議 (水産研究・教育機構主催)
- 水産増殖懇話会 (日本水産学会主催、特別幹事が担当)
- 日本水産学会誌「水産研究のフロントから」寄稿連載 (今年度分)

- 91(3) 佐賀県玄海水産振興センター
- 91(4) 福井県水産試験場
- 91(5) 岡山県農林水産総合センター 水産研究所
- 91(6) 群馬県水産試験場
- 92(1) 京都府農林水産技術センター 海洋センター
- 92(2) 宮城県水産技術総合センター

水産庁長官 森 健 様

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
理事長 中山 一郎 様

令和7年度  
地域の抱える懸案事項に関する  
提案・要望書

令和7年2月  
全国水産試験場長会

地域における水産試験研究の推進につきまして、日頃より格別の御指導、御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、現在、我が国の水産業は、漁業法改正に伴う新たな資源管理システムへの対応、地球温暖化などの気候変動による海洋・内水面水域の環境変化、これまでとは異なる赤潮の大規模発生、疾病被害の拡大や新規疾病への対応、東日本大震災からの復興と原子力発電所の事故に伴う水産物の安全対策や輸出・風評対策に加え、ウクライナの情勢や円安等の影響による物価の高騰など、様々な問題に直面しております。

全国水産試験場長会では、会員が密接に連携し、これら諸問題に対し調査・研究に努めているところですが、国の行政並びに研究機関の御理解と御協力がなければ解決が困難な課題もあることから、会員総意のもとに「令和7年度地域の抱える懸案事項に関する提案・要望書」を取りまとめました。

本提案・要望書の内容につきましては、我が国の水産業の持続的な発展と成長産業化に不可欠なものであります。水産庁並びに国立研究開発法人水産研究・教育機構におかれましては、令和7年度以降の政府施策の決定や予算編成などにおいて、次項の提案・要望項目について特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年2月

全国水産試験場長会

全国水産試験場長会からの提案要望は、毎年、水産庁と水産研究・教育機構に提出後に、全国水産試験場長会ホームページでも「提言」として公表しています。

「提言」

<http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/jochokai/proposition/n0e70g00000034a.html>

「令和7年度地域の抱える懸案事項に関する提案・要望書」では、以下の大項目に含まれる個々の課題について提案・要望しました。

**【制度設計課題】**

- 試験研究等予算の確保
- 国・地方が一体となって進める資源管理体制の強化
- 養殖業の成長産業化のための魚介類の疾病対策の推進
- 内水面水産資源の回復に向けた取組の推進
- 東日本大震災及び原発事故に起因する課題に対応した研究の推進

**【研究・技術開発課題】**

- 資源管理に関する調査研究の高度化
- 気候変動等による漁場環境の変化への対応
- 養殖業の所得維持・向上のために解決すべき課題
- 有害有毒プランクトンの広域モニタリング体制構築、簡易検査手法および発生予測手法の開発
- 魚病防疫に関する研究・開発
- 水産資源への加害生物対策の強化
- 東日本大震災及び原発事故に起因する課題に対応した研究及び調査の推進